

なかじま三四郎



3期12年のまちづくり、これからも。



発行責任
箕面市議会議員
なかじま三四郎

発行日/2020年6月25日
〒562-0014 箕面市萱野1-18-1-302
E-mail 346@hcn.zaq.ne.jp
Website <http://346style.org>



なかじま三四郎活動報告



みのお
自治体のチカラが試されている。
その中心に議会があり、
なかじま三四郎は先頭に立つ。
みまもり・つながり方もアップデート!

▼これまでの実績

▼これからの提案・要望

育つ

- 子どもの医療費助成、対象延長
- 待機児童解消・保育士の確保
- 不登校の子どもたちの学習支援拡充
- みんなの先生(加配教員)配置の提案

- 子ども食堂立ち上げ支援
- 出産・不妊治療などの費用を減免
- 障害のある子どもも一緒に授業を
学級定員の見直しとみんなの先生の
ような加配教員を配置

暮らす

- 生活困窮者自立支援事業の実践
- 放課後等デイサービスの充実
- 介護予防・総合事業の拡充

- あらゆる世代が集える拠点を整備
空き家・独居高齢者宅を活用した
認知症カフェ、子ども食堂など
- SNSによる相談窓口を設置
- オンライン環境を活かした
高齢者の新しいつながりづくり

働く

- 就労支援
パーソナルサポートサービスを導入、
部署を超えた支援体制を構築
- 生きづらさを抱えた若者の社会的居場所
居場所の開設、就労や社会参加を支援する
相談窓口の設置も提案

- 保育士確保と病児保育のさらなる拡充
- コロナ禍に対応する雇用を提案
減収した方々の行政での雇用を提案
- 非常勤(任期付・会計年度)職員の処遇改善
- 元気高齢者の生きがい就労の場を増やす

非常時 に際して

- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、
市の独自政策を提案
上下水道料金の基本料金無料化
子育て世代への支援
障害者市民への支援 などの施策が実現
- 福祉避難所の整備を要望

- 福祉避難所の拡充
指定避難所になっていない施設等を福祉避難所に
指定するよう要望
- 地域防災の強化
日ごろから地域のつながりを強める
- コロナ禍における困窮者支援の拡充



6月議会での質疑から

保護者のみなさんへの情報発信について考える！

一般質問

この間の休校の中で、教育委員会や学校園所から保護者のみなさんへの情報発信について多くのご意見を伺いました。その中からPTA、保護者会の一斉配信メール（通称：ライデンメール）と情報発信のあり方を一般質問で教育委員会にぶつけました。



ポイント①

教育委員会として一斉配信メールを整備すべき！

現在の一斉配信メールは、PTA 発で学校との協働利用がはじまったもので、費用は各PTA、保護者会が負担しています。（費用の問題から一部保護者会では無い場合も）

こうした一斉配信メールは新型コロナウイルスへの対応として、今後さらに必要性も利用頻度も高くなります。公立の保幼小中全ての保護者のみなさんに公平に情報発信ができるよう、**一斉配信メールを教育委員会が整備**するよう求めました。



ポイント②

効果的な情報共有は相互理解が必要不可欠です！

どんな場合に、どんなツールで、どんな情報が発信されるのか。発する側、受け取る側の双方が理解してこそ効率的、効果的な情報発信ができます。新型コロナウイルスの第2波以降への備えとしても、情報発信の**ツール、**

内容、ルール等を検証、整理し、早急に保護者のみなさんへ示してもらうよう提案しました。

教育委員会としても検討していくとのことなので…
今回の問題提起について、各PTA、保護者会からの意見聴取を要望しました。
ぜひ各地域からもご意見を教育委員会へ伝えていきましょう！

民生常任委員会での質疑 「生活介護、移動支援」

「障害者市民の生活に欠かせない支援サービスが不十分」との声がSNSに寄せられましたので、サービスの現状について民生常任委員会で質問しました。今回の質疑で、**制度上は利用上限があるものの、個別に必要性が認められる場合は例外的な対応が可能**とのことを確認しましたので、今回寄せられた声は個別相談として対応させていただくこととしました。今後も今回のような制度の狭間に埋もれる声をしっかりと聞きながら取り組んでいきます。

同じくSNSでご要望をいただきました放課後等デイサービスの実態把握も進行中です。
また SNS や次号ニュースで発信できればと思っています。



▼Facebook、Twitter、Instagram、Website おまとめQRコード



#つかえるヤツ



みえないものを
みえるものに

このニュースは市内の若者や新型コロナウイルス感染拡大の影響により休業や離職された方々への仕事づくりの一環として、若者支援事業を行う〔(一般社団法人) YDP〕と連携して配布を行っています。